

『まいこばなし』

※スパークスのボトムアップ・リサーチを通じて、
MY小話として舞妓さんが日本株の情報をお伝えします。
スパークスの日本株の情報発信レポート



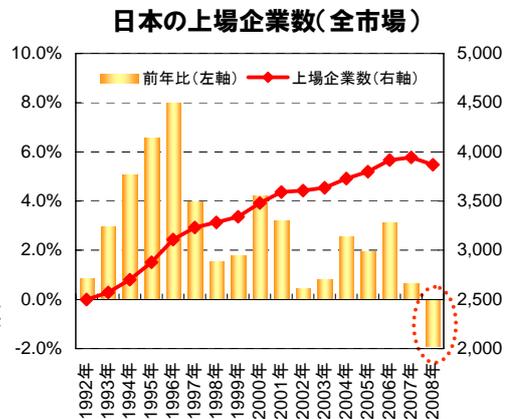
第6号(2009年1月7日)

「お金は人の幸せを作る道具」

新年明けましておめでとうございます。2009年の幕開けですね。皆様はどのような新年を迎えられましたか。今年が皆様にとって良い年になることを心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年は“100年に一度の経済危機”と言われた非常に厳しい年でした。世界中で資産価格が下落し、金融機能が不全となる中で、破綻に追い込まれた会社も数多くありました。

日本の株式市場を見る上で、気になるのが上場企業数の減少です。右のグラフにもあるように、1992年より上場企業数は増加していましたが、2008年減少に転じました。この背景には、破綻や合併などで企業数が減少したことに加え、新規上場の減少やMBOなどの手法により自ら株式上場をやめる企業が出てきていることがあげられます。



出所: 東洋経済 2008年12月末現在

J-SOX対応などにより上場コストが増大していることや資本市場の混乱で直接金融による資金調達が困難になっていることなどから、企業にとって株式上場が魅力のないものに見えるのかもしれませんが。そうだとすると今後の日本の証券市場にとっては重大な問題です。

そのような危機意識を持っている中、ある言葉に勇気付けられました。

「株式上場という仕組みがなければ、ここまで会社を成長させることは出来なかった。」

この言葉は、先日の経営者講演会(スパークスで定期的に行っている上場企業の経営者の講演会。まいこだより第2号参照)でI社長のI会長がおっしゃっていた言葉です。



経営者の想いや考えをダイレクトに伺える貴重な機会。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『まいこばなし』

スパークスの日本株の情報発信レポート



I社は、電子部品や太陽電池の製造装置などを幅広く製造している会社です。I社の創業者であるI会長は中学校を卒業してすぐに単身大阪に向かい、17歳で起業されました。幼少期に金銭面でご苦労されたことから、家族に楽をさせたいという想いを持ち続け、お金を稼げる可能性を模索していた中で、会社を興すことを思い立ったそうです。

90年代のバブル崩壊の際、I社にとっても苦難の日々が続いたのですが、その際にベンチャーキャピタルを通じて調達した資金があったことで苦境を乗り越えることができたそうです。そして株式を上場したことで、ベンチャーキャピタルに報いることができ、その後更なる成長を遂げることが出来たわけです。

I社がたくましいのは、苦しかった90年代に数億円の利益から毎年1~2億円を捻出して研究開発に当てているということにあります。現在I社の成長を牽引している太陽電池向けの製造装置は開発に10年以上の時間を費やしています。もし業績低迷を理由に開発を止めていたらその後の成長はなかったこととなります。

I会長はおっしゃられました。

「お金は人の幸せを作る道具だ。お金があったから開発を続けられて、開発を続けたから技術が備わった。世のためになる技術があればグレーなことをやらなくてもお金は集まる。そして、稼いだお金は貯め込まないできちんと使うべき。たくさん稼いでたくさん使えば多くの人を幸せにできる。」

未曾有の金融危機で人々はお金に対して不信感を抱いています。しかしながら、お金に関わる仕事を続ける我々までが、お金に対して不信感を抱いてはいけな！と気付かされました。非常にありがたい言葉でした。こんな時代だからこそ、お金が出来ることを信じて一つでも多くの幸せを作るために精進していきたいと思えます。



講演会の最後にI会長は我々に「スパークスさんは上場する前から今までずっと応援してくれた会社で感謝しています。」と嬉しい言葉をいただきました。企業と共に成長することを心がけてきた活動が報われた気がした一瞬でした。

2009年でスパークスは創業20周年を迎えます。更なる飛躍を目指し、新しい1年を迎えたいと思えます。

※当コラムは執筆者の見解が含まれている場合があり、スパークス・アセット・マネジメント株式会社の見解と異なることがあります。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。